

看護学部
NAKASHI Mitsuyo
PROFILE
職名 看護学部 看護学科助教
学歴 大阪大学大学院医学系研究科博士前期課程修了(2007)
学位 修士(看護学)(大阪大学、2007)
所属学会 日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本看護診断学会、日本がん看護学会、日本看護研究学会、日本看護福祉学会
専門分野 基礎看護学、終末期看護

中橋 苗代

なかはし みつよ

研究課題1 ● 終末期がん患者の家族機能に関する研究

研究課題2 ● 看護教育に関する研究

業 績

【著書】

『看護診断入門』/「第6章看護診断に挑戦しよう 領域2栄養摂取消費バランス異常：必要量以下の事例、領域7家族介護者役割緊張の事例」、医学書院、2006年、共著。

『根拠がわかる基礎看護技術』/「第V章検査と診療に伴う援助技術 3. 罨法、4. 包帯法」、メヂカルフレンド社、2008年8月、共著。

【学術論文】

「看護師の末期がん患者に対する“看取りケア”とそれに関する要因」/『大阪大学看護学雑誌』12巻1号、2006年、共著。

「看護学生の注射演習におけるBGMの効果—血圧値・心拍数・STAIによる分析—」/『大阪大学看護学雑誌』12巻1号、2006年、共著。

「病院の退院支援・退院調整の役割に関する診療報酬化に向けての調査」/『第21回日本看護福祉学会誌』14巻1号、2008年、共著。

「終末期がん患者の家族支援に焦点をあてた看取りケア尺度の開発」/『日本看護科学学会誌』29巻2号、2009年、共著。

「臨床看護師の看護学実習環境に関する意識調査」/『京都橘大学研究紀要』第36号、2010年、共著。

「家族が予告告知を拒否する終末期がん患者の苦悩に対する看護診断と看護介入」/『日本看護診断学会誌』第15巻1号、2010年、共著。

【国内学会発表】

「在宅末期がん患者・家族における社会資源の利用の実態—看護師への面接調査から—」/第20回日本がん看護学会学術集会、2006年2月、共同。

「末期がん患者に対する看護診断とダイニング・ケア」/第12回日本看護診断学会学術大会、2006年6月、共同。

「共同問題の必要性に関する看護師の認識」/第13回日本看護診断学会学術集会、2007年7月、共同。

「家族支援を目的とした「看取り」ケア尺度の開発とその信頼性と妥当性の検討」/第27回日本看護科学学会学術集会、2007年12月、共同。

「高齢者へのターミナルケアに対する看護師の態度の特徴とその関連要因」/第27回日本看護科学学会学術集会、2007年12月、共同。

「終末期がん患者の家族の家族機能とその関連要因」/第22回日本がん看護学会学術集会、2008年2月、共同。

「対象者の理解と自己洞察をはかる“コミュニケーション実習”における学生の内的状態の影響」/第27回日本看護科学学会学術集会、2007年12月、共同。

「末期がん患者が体験している倦怠感の特性とそれに関連する要因の分析」/第22

回日本がん看護学会学術集会、2008年2月、共同。

「病院の「地域連携室」等の役割と退院支援の現状に関する調査報告」/第21回日本看護福祉学会全国学術集会、2008年7月。

「学士課程における総合看護学実習後の看護技術経験状況と到達度」/日本看護研究学会第23回近畿・北陸地方学術集会、2009年3月、共同。

「臨床看護師の看護過程展開能力とその関連要因」/日本看護学教育学会第20回学術集会、2010年7月、共同。

「学士課程における看護技術経験の推移」/日本看護学教育学会第20回学術集会、2010年7月、共同。

「臨床看護師の看護実践能力とクリティカルシンキングの関連性」/第30回日本看護科学学会学術集会、2010年12月、共同。

【国際学会発表】

「A Descriptive study of Nurses' Receptiveness to Collaborative Problem and Psysiological Nursing Diognosis」/NANDA, NIC, NOC 2006 International Conference、2006年、共同。

「Effects of clinical Instructors' competence in Nursing Practice on the Clinical Learning Environment in Nursing Practicums」/14th East Asian Forum of Nursing Scholars、2011年2月、共同。

【その他】

「終末期がん患者の家族の家族機能とその関連要因」/大阪大学大学院修士論文、2007年3月、単著。

『看護展望』/「経験学習モデルに基づくコミュニケーション実習」、メヂカルフレンド社、2008年5月、共著。

「島津SDと看護診断トレーニングソフト開発のための事業」/2006年～2009年、共同。